茨城.	工業i	高等	専門学校	ξ	開講年度 令和05年度 (2023年度)						授	業科目	応用	数学Ⅱ		
科目基礎	情報									•						
			0113						科目区分 専門 / 道			専門/選	択			
授業形態			講義	講義							Jと単位数 学修単位II					
開設学科			国際創造	国際創造工学科 化学・生物・環境系						<u> </u>	5					
開設期 前			前期	前期						汝	前期:1					
					高遠 節夫 他著「新訂 応用数学」(大日本図書)											
担当教員			中兼 啓	太												
到達目標																
2 .多変数♪ 3 .複素数 <i>0</i>	1.スカラー場、ベクトル場の計算に習熟する。 2.多変数ベクトル値関数の線積分の計算に習熟し、2次元のグリーンの定理を理解する。 3.複素数の性質、複素関数の正則性とコーシー・リーマンの関係式との関係を理解する。 4.コーシーの積分定理を理解し、複素積分の計算に習熟する。															
ルーブリ	ック	7														
					理想的な到達レベルの目安					標準的な到達レベルの目:						
評価項目1					ベクトル解析の基本事項を理解し 、複合問題を解くことができる。				ベクトル解析の基本事項を理解 、基本問題を解くことができ			頁を理解し ができる。			本事項を理解し ことができない	
評価項目2					合問題を解くことができる。本問題を解く						事項を理解し、基 とができる。 複素関数の基本事項を理解し、基 本問題を解くことができない。					
学科の到達目標項目との関係																
学習・教育到達度目標 (A)																
教育方法	等															
概要			自然科学	学やエ	学を学ぶ学	生に	必要なべく	フトル解析	斤と複素	関数の初	歩をそれ	れまで学ん	だ微分	積分・線形代数	数学の復習・発	
展の観点から学ぶ。 授業は講義と演習形式で行う。 基本事項を講義で解説し、その後演習を通して学生自らが手を動かして考えることで 本事項の理解を確認し、計算力・思考力を養う。													考えることで基			
本事項の理解を確認し、計算力・思考力を養う。																
授業の属	性・	履修	上の区分	了												
□ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教												教員による授業				
授業計画	i															
汉本时已		 週	授業内容							週ごとの到達目標						
			1週		-般次元のベクトルと平面、ベクトル関数とその微分						ベクトルの演算、内積、ノルム、1変数ベクトル値関 数が理解でき、その微分が計算できる。					
			2週	曲線	由線と接線ベクトル、スカラー場とその偏導関数						1変数ベクトル値関数としてのパラメーター曲線と接線、多変数実数値関数(スカラー場)の概念、勾配が理解できる。					
			3週		・						多変数ベクトル値関数(ベクトル場)の概念、回転と発 散が理解できる。					
	1stQ	!	4週	回転線積	転と発散(2) 環分(1)						回転と発散の計算ができる。多変数ベクトル値関数の 線積分の定義が理解でき、その計算ができる。					
			5週	線積	分(2))					多変数ベクトル値関数の線積分の定義が理解でき、そ の計算ができる。					
			6週	1 -	-							グリーンの定理を理解し、その応用ができる。				
前期			7週	(4	(中間試験)							作主状。mplig符 - 作主要 7 - 1年 2 / 1 - 1				
			8週	複素	複素数と複素平面							複素数の四則演算、複素平面と極形式、ド・モアブル の定理が理解できる。				
	2ndQ		9週	複素	复素関数							複素変数の指数関数、三角関数、1次分数変換が理解 できる。				
			10週	正則	正則関数							正則関数、正則関数の微分公式、コーシー・リーマン の関係式、逆関数、べき関数、対数関数が理解できる 。				
			11週	複素積分(1)							線積分および複素積分の概念が理解できる。			きる。		
			12週	複素	複素積分(2)						線積分および複素和			録分の計算ができる。		
			13週		コーシーの積分定理(1)						コーシーの積分定理が理解できる。					
			14週		コーシーの積分定理(2)						コーシーの積分表示を理解し、積分計算への応用がで					
			15调	(期	(期末試験)											
		16週			総復習											
評価割合	ì															
試験			課題		発表		相互評価	価 態度			ポートフォオ	ォリ	その他	合計		
総合評価割合		90		10	0 0		0	0		0		0	100			
		90		10	0 0		0		0		0		0	100		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		0		0		0 0			0		0		0	0		
分野横断的 力	0) (0 0		0	0			0		0	0			
評価割合 総合評価割合 基礎的能力 専門的能力 分野横断的能		12週 初 13週 二 14週 二 15週 16週 試験 課 90 10 90 10 0 0		複素 コー (期 総復 10 10 0	議議分(2) ローシーの積分定理(1) ローシーの積分定理(2) (期末試験) 液復習 発表 相互評価 態度 0 0 0 0 0 0 0 0 0						線積分および複素積分の計算ができる。 コーシーの積分定理が理解できる。 コーシーの積分表示を理解し、積分計算への応用ができる。 ポートフォリ その他 合計 0 0 100 0 100 0 0 100 0 0 0 100 0 0 0					